

1 財政に関する取組

地方公共団体の予算の執行状況や財務状況の実態を把握している強みを活かし、財政課題解決に向けた官民連携手法の活用を支援するなど、地方公共団体の健全な財政運営に寄与しています。

財務状況把握ヒアリングを契機とした 財務局と地方公共団体の連携強化

埼玉県小鹿野町および長野県佐久穂町を対象にキャッシュフローや類似自治体との比較でみた両町の財政の現状、更に公共施設の更新などの課題解決に向けた合同勉強会を実施。

概要

- 両町に財務状況把握ヒアリングを実施し、老朽化した施設の更新に係る財源確保等の課題を把握。
- 両町から、町職員全員が財務状況及び課題を学習する機会を得たいとの要望があり、合同勉強会を開催。
- キャッシュフローや類似自治体との比較でみた財務状況や課題を説明したほか、課題解決に向け、公共施設更新に際してのPPP/PFI※の活用について説明。
(※PPP：官民連携事業、PFI：民間資金等活用事業)
- 融資課の通常業務である財務状況把握ヒアリングを契機に地域貢献を意識した取組であり、財務局が有するノウハウ・ネットワーク、ハブ機能を発揮して実現。

「小鹿野町・佐久穂町合同勉強会」

開催日	令和4年11月29日（火）
場所	さいたま新都心合同庁舎からWEB配信
講師	関東財務局及び(株)民間資金等活用事業推進機構

取組の成果

【合同勉強会の模様】



(小鹿野町)



(佐久穂町)

- 両町長のほか財政、企画、産業振興や保健福祉などの管理者や担当職員約40名が参加。
- 両町からは「町の強みや、弱みを再確認する良い機会となった」「具体的な事業の実施にあたりPFI手法の導入を積極的に検討していく」「県外の自治体と情報共有できる機会は今まで無く、両町の間で交流を進めたい」との声。
- 財政の現状や事業実施にあたっての民間活用への意識の醸成、県外の自治体間の交流創出などに貢献。

地方公共団体との対話で把握した地域課題の解決サポート

市町村長との意見交換等で把握した地域の課題に対し、関係機関と連携し、地方公共団体等を対象に「地域公共交通と財政等課題解決に係るセミナー」をオンライン開催

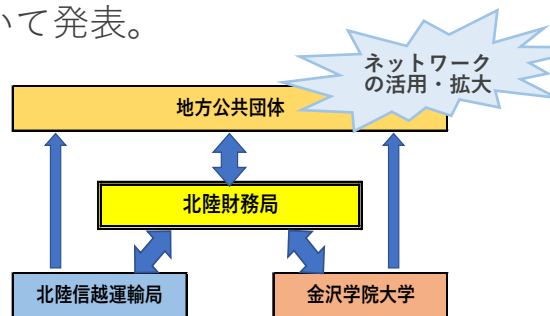
概要

- 毎年度、北陸財務局が北陸3県(石川・富山・福井)全ての市町村長と実施している意見交換や、財政融資資金の貸し手として実施している地方公共団体の財務状況把握等において、「地域の交通環境・公共交通の維持が課題であり財政負担にも影響している」との声を把握。
- 課題解決に向けて、専門的な知見を有する国土交通省北陸信越運輸局に働きかけ連携・調整。当セミナーで同運輸局から地域公共交通の現状と課題解決に向けた施策等について説明。
- 北陸財務局の連携協定先であり「地域公共交通」をテーマとしている金沢学院大学経済学部と連携。同学部ゼミからバス需要の分析結果等について発表。

STEP 1 地域課題の把握 (市町村長との意見交換、財務状況把握など)

STEP 2 事前アンケートの実施 (地方公共団体のニーズ、実態を把握)

STEP 3 セミナーの開催 (上記ニーズを踏まえ関係機関と調整のうえ実施)



取組の成果

- 北陸3県の地方公共団体に加えて、同運輸局が管轄する新潟県・長野県の団体も対象とし(関東財務局とも連携)、広域的な取組に発展。北陸3県16団体、新潟・長野両県12団体のほか、各運輸支局や他財務局(6局)など幅広い参加(約100アカウント参加)につながり、参加者から好評を得た。

【参加者の声】

- ・補助金関連の情報は予算査定等で重要になるため大変参考になった。
 - ・学生からの発表は、役人とは違う視点があり興味深かった。
 - ・若者が地域公共交通に関心を深める場になったことは大きな意義。
- 同大学から「学生にとって貴重な機会となった」との謝意があったほか、同大学のホームページにも当セミナーへの参加結果について掲載されるなど、大学及び財務局のプレゼンス向上と連携強化にも寄与。

(金沢学院大学研究発表の様子)



今回(1月)セミナーの事後アンケート結果を踏まえ、4月及び5月にもセミナーを開催。引き続き、地域の課題解決に向けたサポートや地域連携の強化・推進に取り組んで行く。

地方公共団体の課題解決への支援

少子高齢化や公共施設等の老朽化に伴う収入の減少や支出の増加等、地方公共団体が抱えている財政面での課題に対して、研修会等を通じて課題解決への支援を実施

概要

○地方公共団体の財政面での課題

少子高齢化
収入減
支出増

公共施設等
の老朽化
支出増

景気の悪化
収入減

○地方公共団体からの要望

- ・ 財務状況について、財政担当課だけでなく、事業担当課にも知って欲しい
- ・ 上下水道事業の経営課題について、職員間で認識の共有を図りたい
- ・ 公共施設等の更新を検討するに際し、手法の一つであるPFI（Private Finance Initiative）について知りたい

➤ 地方公共団体からの要望に応じて課題解決に適する参考資料の提供や研修会等の内容を検討

取組の成果

○財務状況把握ヒアリングの結果概要（診断表）に基づく研修会や実地監査の結果に基づく上下水道事業の経営状況に係る研修会の実施



（参加者の声）

- 客観的な第三者の意見を聞くことができた
- マクロの視点で財政面を考える良い機会となった
- 担当部署以外にも行政課題等を共有できよかった

○民間資金等活用事業推進機構（PFI推進機構）と連携した研修会等の実施

○上記研修会等の実施のほか、PFI事業をはじめとする収支改善取組事例の紹介等により地方公共団体の課題解決に向けた継続的な支援を実施

地方公共団体が抱える課題解決に向けた継続的な支援

広島県神石高原町から寄せられた支援要望に対し、(株)民間資金等活用事業推進機構(PFI推進機構)や他の財務局と連携して、多面的かつ継続的に伴走することで、地域課題の解決に貢献。

概要

○中国財務局では、当局が神石高原町の財政状況を分析したことなどをきっかけに、同町から、PFIを活用した施設整備に関する情報提供の依頼が寄せられたことを受け、関係機関と連携し、同町の取組をサポート。

①PFI推進機構と連携し、三者による合同WEB会議を開催
同機構から神石高原町へ、全国のPFI活用事例を紹介し、事業を進めるうえでのポイントを個別にアドバイス。

②補助金等の情報提供

当局がPFIで活用可能な補助金等の概要について情報を提供し、補助金の相談窓口を案内。

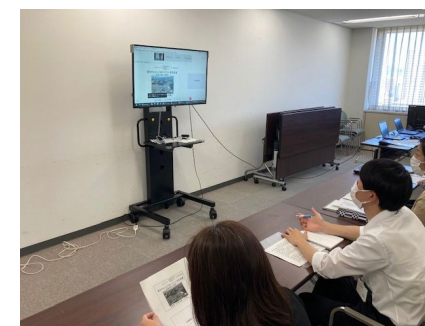
③九州財務局と連携し、先進的な取組団体(熊本県玉東町)とのWEB意見交換会を開催

玉東町から、PFIを活用した事業の概要等について、経験を交えて説明。



取組の成果

○玉東町との意見交換会では、中国財務局が神石高原町から事前に聞き取りした疑問点に対して、玉東町が実体験を踏まえて回答することにより、**神石高原町が抱いていた疑問解消に寄与。**



【意見交換会の模様】

○神石高原町においては、こうしたアドバイス等を踏まえ、PFIの導入可能性調査など、PFIの活用に向けて取り組んでいく予定。

○PFI推進機構とは、合同WEB会議のほか、連携して以下の取組を実施しており、今後も、PFIに関心のある地方公共団体を後押ししていく。

- ・PFIに対する理解を深めるため、中国財務局職員向けに、同機構がPFIの現状等に関する説明会を開催。
- ・中国財務局管内の地方公共団体に対して、同機構が作成したPFIの広報動画を案内。

熊本県水俣市における予算執行調査の説明会及び意見交換会

補助金等の申請・執行を行う地方公共団体との意見交換等を通じ、予算執行調査に係る情報について共有。

概要

- 予算執行調査の概要説明ののち、水俣市との意見交換会を実施。
- 水俣市から、デジタル田園都市国家構想交付金、認定こども園に係る給付金など、国の補助金等に関する議題の事前提出を受け、これに沿って国、地方公共団体それぞれの立場から意見を述べるフリーディスカッション形式で実施。



【予算執行調査の概要説明の様子】



【意見交換会の模様】

取組の成果

- 説明会及び意見交換を通じて水俣市との連携強化を図ることができた。
- 議題のうち1件を、令和5年度予算執行調査事案の候補（認定こども園に係る給付金）として本省へ提出したことにより、水俣市の問題意識を本省とも共有できた。

【参加者の声】

- 今回のような意見交換会を開催してもらうのは相互理解を深めるうえでも非常に意味がある。ぜひ、自治体の意見や要望を本省に伝えていただきたい（水俣市職員）。
- 要望や意見を主張するだけでなく、お互いの立場を理解し、寄り添いながら、双方にメリットのある解決策を議論する場合は貴重な経験となった（財務局職員）。

【今後の展開】

- 国と地方公共団体の双方がお互いの立場や役割を理解し、議論することは重要。引き続き地方公共団体との意見交換の場を通じて、予算執行調査の周知と、調査の実効性向上に努めていく。